

サイバーナイフの適応疾患

どのような疾患に効果があるの？

頭蓋内疾患だけでなく、肺がんや肝がんにも適応となります！

頭蓋内疾患

- 良性腫瘍
 - ・ 髄膜腫
 - ・ 下垂体腺腫
 - ・ 聴神経腫瘍
 - ・ 頭蓋咽頭腫 など
- 血管障害・脳動静脈奇形 など
- 悪性腫瘍
 - ・ 転移性脳腫瘍
 - ・ 神経膠芽腫 など

頭頸部疾患

- 咽頭がん
- 唾液腺がん
- 喉頭がん
- 口腔底がん
- 副鼻腔がん
- 歯肉がんなど
- 舌がん



体幹部疾患

- 原発性肺がん
- 原発性肝がん ※1
- 転移性肺がん
- 転移性肝がん ※2
- 脊髄動脈奇形など

※1 原発性肺がん、原発性肝がんの保険適応は、直径5cm以下で転移病巣のないものに限定されます。

※2 転移性肺がん、転移性肝がんの保険適応は、病巣3個以内で他に転移病巣のないものに限定されます。

お問い合わせ先 地域医療連携室 TEL.03-3967-1181(代表) FAX.03-5914-3222(直通)
 お問い合わせ受付時間 月曜～金曜 8:00～19:00 / 土曜 9:00～17:30

IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください。

FREE 0800-800-1632 **03-3989-1141** (代表)
※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。 受付時間/平日8:30～17:30 土曜日8:30～12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

板橋中央総合病院 地域広報誌
 PLAZA IMS(プラザ イムス) Vol.38 秋号
 発行:板橋中央総合病院 地域健康相談室
 発行日:2014年9月
 IMSグループ 医療法人社団明芳会
板橋中央総合病院
 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7
 TEL.03(3967)1181

— 理念 —
**安全で最適な医療を提供し、
 「愛し愛される病院」として社会に貢献する。**

— 基本方針 —
 1. 急性期病院として1人でも多くの患者さまのニーズに応えるために全力を尽くす。
 2. 他の組織や施設と密接に連携してシームレスな医療を構築し、地域のニーズに応える。
 3. 接遇マナーとコミュニケーション能力を備えた職員を尊重し、かつ育成する。



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

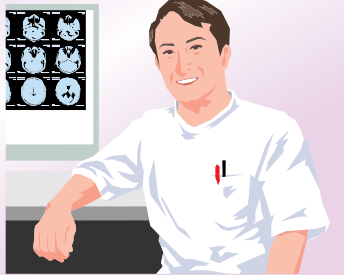
C O N T E N T S

2p

脳血管内科治療の専門医が入局!

脳血管内科のご紹介

平成26年6月1日に脳血管内科が新設され、同科に配属されました。長崎県出身、長崎大学医学部を平成8年に卒業し、神経内科医として診療に従事していました。多数の脳卒中患者さんを診ているうちに、脳梗塞緊急治療に興味を持ち、2002年4月に脳血管内治療を学ぼうと湘南鎌倉総合病院へ入職、2006年に脳神経血管内治療学会専門医の資格を取得しました。現在日本国内で脳血管内治療を行っているのは主に脳神経外科医ですが、私は神経内科医です。脳血管内科は脳血管内治療を行うのみでなく、脳卒中患者さんの内科治療を行う科です。院内の脳神経外科医と協力して脳卒中急性期診療にあたりるとともに、開業医の皆様、回復期リハビリ病院の皆様等々と連携し、地域全体の脳卒中診療レベルの向上に努めたいと思います。よろしくお願いたします。



脳血管内科 泉本 一 医師

3p

睡眠時無呼吸症候群という病気をご存知ですか?

睡眠時無呼吸症候群外来のご紹介

はじめまして、平成26年1月より板橋中央総合病院 呼吸器外科に配属になりました。昭和61年に福島県立医科大学を卒業し、呼吸器外科として三井記念病院、国立がんセンターなどで肺癌を中心とした呼吸器外科治療に従事してまいりました。外科治療が中心となりますが、肺癌に対する化学療法、放射線治療、放射線化学療法等の集学的治療、気管支鏡による診断ならびにステント・レーザー治療、喀血などに対する血管カテーテルによる肺血管治療も数多く行ってまいりました。また睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP療法、慢性心不全・呼吸不全に対するBiPAP治療も総数で1000名あまり経験させていただいております。微力ながら、呼吸器疾患に対する診断ならびに外科治療、気管支鏡・血管カテーテルを用いた診断・治療、睡眠時無呼吸症候群の診断・治療など、ご相談いただければ呼吸器外科スタッフ全員で対応させていただきます。宜しくお願致します。



呼吸器外科 高橋 保博 医師

4p

どのような疾患に効果があるの？

サイバーナイフの適応疾患

頭蓋内疾患だけでなく、肺がんや肝がんにも適応となります！



脳血管内科のご紹介

脳血管内治療の専門医が入局しました!

脳血管内科とは? 身体への負担が小さい治療

脳血管内治療とはカテーテルと呼ばれる細い管を足の付根、または腕から血管内に挿入して、血管の内側から病気を治療する技術です。最近テレビの特集番組でも見る機会が増えました。心臓領域は有名で、風船等を用いて冠動脈と呼ばれる心臓の血管を治療します。脳血管内治療は、このカテーテルの技術を用いて脳血管の治療を行います。従来の開頭手術と違って頭を切らないため、全麻酔をかけずに治療することも可能なことが多く、**開頭手術に比べて身体への負担が小さい治療法**です。

メリット

- 開頭手術と比べて、患者さまへの負担が少なく、高齢者や合併症をもった方にも施行可能
- 治療後の安静や入院期間が短い
- 外見的に頭を傷つけない
- 局所麻酔でも施行可能

デメリット

- 脳血管の損傷など合併症の発生時には、重大な後遺症を残すことがある
- 脳血管の動脈硬化の程度が強く、屈曲蛇行が著明な場合には治療が困難である
- 新しい治療法のため、長期成績が確立されていない

どのようなことができるの?

詰まった(つまりかけた)血管を広げる

- ・薬剤局所動注
- ・**風船(バルーン)治療**
- ・**血栓回収療法**
- ・頸動脈狭窄症等、細くなった動脈への**ステント留置**

破れた(破れそうな)血管を処置し、出血を防ぐ

- ・くも膜下出血への脳動脈コイル塞栓術
- ・未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術

ステント留置

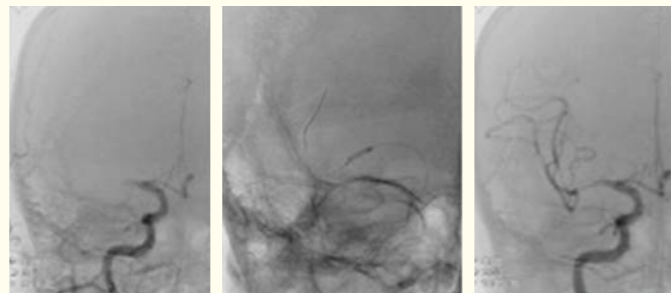
右大腿(足の付根)に局所麻酔をした後、カテーテルを挿入します。施設によって全身麻酔下に行う場合もあります。また手術の方法によって肘や手首、両足からカテーテルを挿入する場合があります。



カテーテルを病変部位へ進め、血管の内側から風船で狭窄部を広げ、さらにステントと呼ばれる金属の筒をはめて補強します。ステントは通常専用のカテーテル内に収まっていますが、形状記憶されていて、血管の中に出すと体温で所定の大きさに広がります。

風船(バルーン)治療

風船を用いて血管につまっている血栓を砕きます。風船を広げ過ぎると、血管が破れて出血し、危険です。



血栓回収療法

薬剤局所動注、風船(バルーン)治療、ステント治療を行っても、血栓の量が多かったりすると、血管を広げられずに困ってしまいました。そこで登場したのが、2010年10月1日より使うことができるようになったMerci Retriever(メルシーリトリーバー)と、さらに2011年12月より使うことができるようになったPenumbra(ペナンブラ)という道具です。

これらは、血管につまっている血栓(血の塊)を捕まえて、体外に取り出す道具です。治療に慣れた者が使用する事が前提であり、専門医を取得したもの(それに準ずる経験のある医師)がさらに専用のトレーニングを受けて、はじめて、使うことが許される道具です。

さらに2014年7月1日よりSolitaire、Trepoという2つの道具も認可され、再開通成功率がさらにあがることが期待されています。

このような方はぜひ! 脳血管内科外来を受診してください

脳卒中や脳動脈瘤が心配なので相談したいという方、ぜひ受診してください。

頸動脈狭窄(細くなった部分)や脳動脈瘤が他の病院、脳ドックなどで既に見つかった方も、見つかっていない方でもかまいません。異常の有無、治療方針を最初から調べさせていただきます。

お問い合わせ先

脳血管内科外来

TEL: 03-3967-1181(代表)

睡眠時無呼吸症候群外来のご紹介

睡眠時無呼吸症候群という病気をご存知ですか?

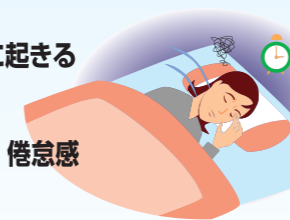
睡眠時無呼吸症候群とは?

睡眠時無呼吸症候群とは(SAS: Sleep Apnea Syndrome)は、**睡眠中に無呼吸状態となり、それが原因で通常の生活に様々な障害を引き起こす病気**です。

睡眠時無呼吸症候群の原因は、空気の通り道(気道)が塞がる、狭くなることによって起こる閉塞型が大半を占めます。

閉塞型睡眠時無呼吸症候群には、次のような症状があります。

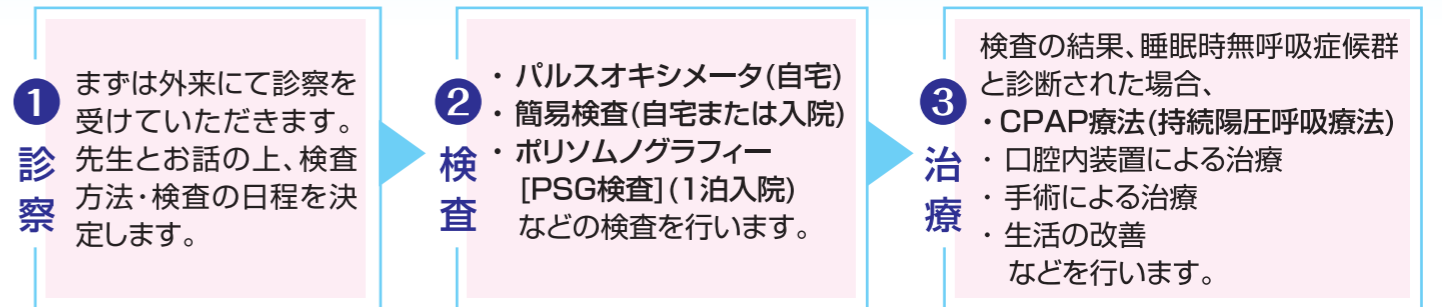
- 大きなイビキをかく
- 夜間何度も目が覚める、トイレに起きる
- 起床時の頭痛、のどの渇き
- 日中の強い眠気、集中力の低下、倦怠感
- 逆流性食道炎



閉塞型睡眠時無呼吸症候群は、そのまま放置すると、高血圧や脳卒中・脳梗塞、糖尿病などの慢性疾患に発展する可能性が高いといわれています。また、日中の眠気による交通事故のリスクや、うつ病のリスクも高くなっています。

左記のような症状が気になる方や、睡眠パートナーがイビキをかく、睡眠中に呼吸が高まるなどの症状にお気づきでしたら、ぜひ睡眠時無呼吸症候群外来へお越しください。

睡眠時無呼吸症候群外来受診の流れ



検査の種類

~どのような検査で分かるの?~

パルスオキシメータ(自宅)

1つのセンサーを指に装着することにより、睡眠中の血中酸素状態、脈拍を測定します。



簡易検査(自宅または入院)

一晩を通して呼吸の状態や血中の酸素状態などを測定し、睡眠呼吸障害の程度(AHI)を評価する検査です。

1時間当たりの無呼吸、重症度

回数	重病度
5回未満	正常
5回以上~15回未満	軽症
15回以上~30回未満	中等症
30回以上	重症



代表的な治療方法

~効果的な治療方法は?~

CPAP療法(持続陽圧呼吸療法)

鼻に装着したマスクから空気を気道へ送り込むことにより、常に圧力をかけて空気の通り道が塞がれないようにします。治療を継続することによって、睡眠時無呼吸症候群の症状改善が期待され、血圧を下げる効果の報告もあります。



CPAP療法は、検査の結果が一定の基準を満たせば、健康保険の適用となります。その場合には、**必ず月1回外来受診**をしていただきます。より良くCPAP療法を継続していただくことが重要ですので、必ず外来にかかるようにしてください。

お問い合わせ先

呼吸器外科外来

TEL: 03-3967-1181(代表)